

田中 茂 Tanaka Shigeru

1959年 栃木県生まれ
 1984年 第38回二紀展 奨励賞
 以後毎年出品
 1990年 栃木県芸術祭賞
 1996年 栃木県彫刻造形協会発足
 1997年 那須野が原彫刻シンポジウム
 in 大田原
 2006年 第60回二紀展 損保ジャパン
 美術財団奨励賞
 2010年 第64回二紀展 宮本賞
 2011年 第65回二紀展 会員優賞
 2015年 栃木県文化奨励賞
 現在 一般社団法人 二紀会委員
 栃木県彫刻造形協会 会長
 日本陶彫会 会員



「風を感じる神」2013

昔、狸は人を化かすとおばあちゃんに聞きました。何にでも化ける狸が、村の鎮守の森から、ばさばさと歩いて出てきたらどうなるだろう。想像は、どんどん大きく成長します。この狸は、どんどん活動を始めます。いろいろなものに化けて様々な事をしたくなるはずで。

その姿は形を生み出し、形は感情を生み出し、素材は経験を補足し、心地よい雰囲気を出します。やりたい放題の狸は、ついに、神様に手を出しました。訳のわからない次元への挑戦です。地球を創り、土や水を生み出し、空気の流れを風として創り出すエネルギーはどこからくるのでしょうか。

そんな生み出す力を宿す神様を表現したい。

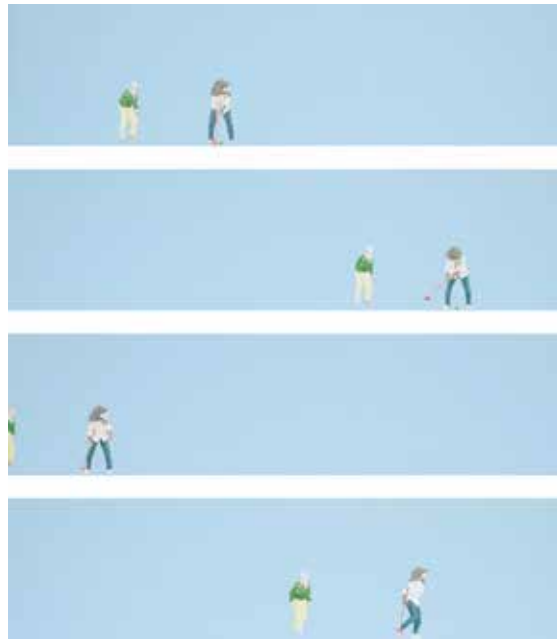
野田 琢 Noda Taku

1983年 北海道生まれ
 2015年 多摩美術大学大学院
 美術研究科 絵画専攻
 油画研究領域 修了
 現在 大田原市芸術文化研究所
 指導員

日常をテーマに、生活の何気ない風景を作品にしています。その中でも衣食住に焦点を当て、普段は見過ごしてしまいそうな物事を、作品を通して表現したいと思っています。

支持体を幾つかのコマに分け、人物に動きをつけています。背景を敢えて描かず、余計な情報をそぎ落とすことで、枯山水を鑑賞するかのように、色々な想像をしながら作品を見ていただければと思います。

テーマである日常生活を吟味してみると、とくに意識せず、毎日当たり前に、そして習慣的に行動していることに気がつきます。とはいえ、一日一日を生きていく、そんな当たり前を一生継続していくというのは、容易ではありません。



「ころころころ」2016 4点連作

①455×1818×45mm ②455×1818×45mm ③455×1818×45mm ④455×1818×45mm
 パネルにキャンバス、アクリルガッシュ

毎日の暮らしや仕事の中で、私たちは大小様々な困難に直面することがあります。たとえば環境問題、戦争や格差、あるいは人と人との繋がり、価値観、仕事、お金や教育問題など、些細なことを含めると悩みは尽きません。その上、それらの問題は、なかなか答えの出ないことが多いのではと感じます。さらに、私たちは生活の中でいろいろな経験をし、常に学びながら成長していきます。しかし、その経験は先入観を生み、その先入観によってまた新たな問題が生起するのです。

これらの問題を解決するには、心身の健康を維持しながら生活をしていかなくてはなりません。そのためには、生活の基本である衣食住を整えることが不可欠です。日常生活の中で私たちが普段、何気なく繰り返している日々の出来事は、人が生きていくために必要な衣食住が揃ってこそ成立します。そして衣食住は人々の生活の源であり、また様々な問題の根源であると言えるのではないのでしょうか。現代社会で生きている我々にとって、時には先入観を排し、それらを見つめ直すことが第一に必要なのかもしれません。

二人展
 Two people Exhibition 2017